No.182

SOPHIANS NOW

ソフィアンズ ナウ Autumn 2017

ソフィア会 80年のあゆみ

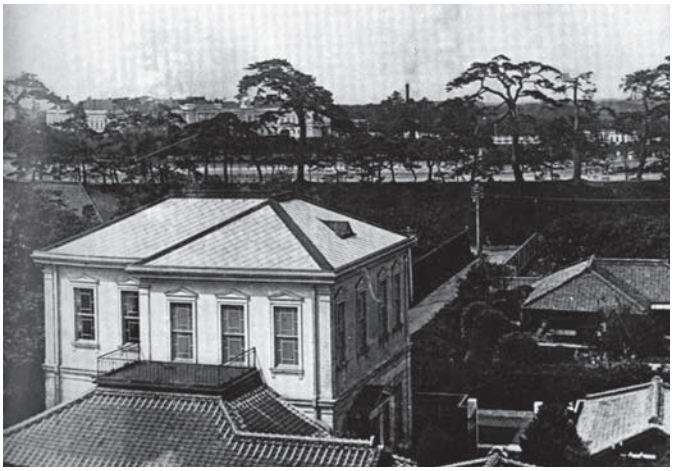
上智大学ソフィア会は、1937年12月1日に設立されました。今年ちょうど、設立 80周年を迎えたことになります。しかしこの 80年間、決して順風満帆であゆみを続けてきたわけではありません。80年の間にはいろいろな出来事がありました。

上智大学ソフィア会　〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1　TEL: 03-3238-3041　FAX: 03-3238-3028
SOPHIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION　7-1 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8554 Japan
ソフィア会 Web サイト　http://www.sophiakai.gr.jp/　E-mail:info@sophiakai.gr.jp

発行／上智大学ソフィア会
発行人／戸川宏一　編集人／宍戸周夫
発行日／ 2017 年 11 月 25 日

創世記

“ささやかなグループ”として誕生


最初の事務局が置かれた大島館

「上智大学 50 年史」はソフィア会設立の様子を次のように伝えています。

「上智の卒業生は、その数がきわめて少なかったから、卒業してからも相互の親睦は失われず、ある程度の連絡はとれていた。しかし大学令による大学に昇格してから卒業生の数も次第にふえ、いずれ劣らず母校の発展を願わないものはなかったので、ここに校友会ソフィア会の設立をみるにいたった。すなわち 1937 年 12 月 1 日、東京丸の内「エーワン」において第 1 回ソフィア会総会を開き、会則を定め、委員を選出した」

この場で幹事長、すなわち第 1 代会長として選出されたのは上智大学の第 1 回卒業生の西村三千輔氏。ちなみに、ソフィア会設立当時の累計卒業生数は 552 名でした。

上智大学新聞にも、設立当時の様子を伝える記事があります。

「昭和 2 年（1927 年）ごろから卒業生の会を作ろうとする動きが芽生え、（中略）学内の大島館に事務所を設け、同窓会ソフィア会が発足した。ときのソフィア会員達は金 20 円也の終身会費を納めた。当時毎年 10 人そこそこの卒業生を迎えていたソフィア会は、ささやかなグループといった感じのものだった」（1955 年 4 月 30 日付）。

今の会員 14 万人のソフィア会に比べれば、まだ非常に小さな団体でした。そして、当時の終身会費は 20 円。これは現在の貨幣価値に直すと約 3 万円となります。生まれたばかりの会とはいえ、終身会費としては妥当な額だったのかもしれません。

しかし、こうして誕生したソフィア会にも、次第に戦争の足音が近づいてきます。記事もこう続けています。

「その後は会の動きも停滞気味で第二次世界大戦に入り、組織そのものがバラバラになってしまい事実上ソフィア会は消滅してしまった」

復興期　全国組織への拡大を目指す

終戦を迎え、ソフィア会は活動を再開します。

「戦後、音信不通の悪条件のなかで昭和 22 年（1947 年）の秋、学内クルトルハイムで約 100 人の会員を集めて再発足した。地方に散った会員の連絡がうまくいかないので、まず東京だけで集まろうと申し合わせた」（同）。

戦後再発足した会は“東京ソフィア会”と称してカマボコハウスにソフィアクラブを設置、これを集会所としていましたが、「次第に会員数も増え、会員のつながりも密接になったので、待望の全国組織に切り替えるため昨秋（1954 年）11 月 3 日、総会を開き、会の組織をがっちり整えた」（同）。

「学生会、ソフィア会との共催で恒例のビア・アーベントを数寄屋橋ニュー・トーキョー 2 階ホールではなばなしく開いた。卒業生約 170 名が参加した」というレポートもあります。学生と卒業生が交流する、現在の「オールソフィアンの集い」のようなイベントだったのかもしれません。

しかし、会の運営にはどうしても浮き沈みがあります。理由は定かではありませんが、その後また会の活動が停滞します。それを物語るのは、1961 年 4 月 20 日付上智大学新聞の「ソフィア会再建の動き」という記事。「再建」という文字の裏には、ほとんどソフィア会が活動していなかったという状況が伺い知れます。

「ソフィア会の再建は数年来いわれてきたが、再建への機運が高まりやっと具体的になってきた。再建準備委員会が生まれ毎週のように委員会が開かれている」。

第3代会長である遅塚世六氏の時代です。

拡大期　ソフィア会本部と任意のソフィア会が一体化

この再建準備委員会が新たに取り組んだのは、名簿作成と会則改定でした。会員の名簿を整えるとともに、会則改定によって組織を確立しました。ソフィア会事務局を設置、会長のもとに事業、組織、総務、広報、学生、国際の各部を設けます。ここで、現在のソフィア会の前身ともいうべき組織が誕生したわけです。1961年のことです。

ソフィア会が再建に向けて体制を整える一方、これとは別に現役時代のクラブの OBOG 会や地域のソフィア会も独自に組織化されるようになってきました。現在の各種、地域ソフィア会設立の動きです。

たとえば、グリークラブの卒業生有志は 1965 年 6 月に第 1 回 OB 会総会を開き、任意のソフィア会として上智大学グリークラブ OB 会を立ち上げます。各地域や企業内でも上智の卒業生が自然と集まり、独自のソフィア会を旗揚げしていきます。卒業生が旧交を温めるというこうした動きは自然な流れでした。

この任意のソフィア会が、いわゆるソフィア会本部と一体となって同窓会活動を盛り上げるきっかけになったのは、1977年5月28日（土）に開催された「オールソフィアンのつどい’77」といえるでしょう。

このイベントに合わせて、各ソフィア会は学内で総会・懇親会などを開催。同時に SJ ガーデンで卒業生は記念品の特製はっぴを着て、各ソフィア会の垣根を越えオールソフィアンとして交流しました。そのため、このイベントには“はっぴフェスティバル”というタイトルもついていました。第 4 代会長渡辺慎介氏の時代ですが、当時のヨゼフ・ピタウ学長の力を忘れることができません。

1977 年のオールソフィアンのつどい（左から二人目は第 5 代学長の大泉孝氏。右の背中がヨゼフ・ピタウ第 7 代学長）

新時代　ソフィア会の新たな姿を探る

その後、この「オールソフィアンの集い＝All Sophians’ Festival（ASF）」は毎年 5 月最終日曜日に開催され、ソフィア会最大のイベントへと発展します。大学創立 100 周年の 2013 年には 2 万 7,000 人ものソフィアンが参加。その後もこの日に合わせ、毎年 1 万人以上が母校を訪れるようになりました。この急成長には、和泉法夫第 8 代会長が実行委員長を務めた 1990 年の「オールソフィアンの集い」の際、教室での飲食を伴う同窓会を開催する許可を大学から取り付けたことが功を奏したといえます。

戸川第10代会長に聞く

「これからのソフィア会の姿」

ソフィア会の現状をどのように認識されていますか？

今や上智大学の卒業生は約14万人に達し、これからも毎年約3,000人の卒業生が加わって、ソフィア会はますます大きな組織になってまいります。

ソフィア会の目的は、会員相互の親睦を深めること、そして母校上智大学の使命達成と発展に貢献することです。上智大学がこれからさらに発展し、上智のブランドイメージを高め、素晴らしい大学として存続するために、卒業生が社会で培った経験を生かし、母校の発展のために何らかの貢献ができるようにしたいと思います。そのために、ソフィアンズネットワークを全世界に張り巡らし、参加しやすい環境をつくっていきたいと思います。

課題は何だとお考えですか？

3つあると考えています。

ひとつはソフィア会がこれからますます大きくなる時を見据えて、どのようなソフィア会にすべきか、今この時点で、しっかりとした将来ビジョンを真剣に考え具体化すべきだと考えます。

2つ目の課題は、上智大学は文科省のスーパーグローバル大学創成支援事業に選ばれましたが、その事業に成功するために、ソフィア会としてどのように大学を支援できるかということ。3つ目は、地域、各種など各ソフィア会のネットワークをつなげ、世界の中で大きなソフィアンの輪をつくり、真のソフィアンの共同体をつくることも必要だと思います。

それらの課題に、どのように取り組みますか。

ソフィア会の将来像を考え具体化するためには、全国代議員をはじめ、常任委員、専門委員の協力を欠かすことができません。その取り組みをリードするため、常任委員会に「ソフィア会将来ビジョン検討委員会」を設けました。ここに若い世代の人も迎え、ソフィアンの叡智を結集したいと思っています。

上智大学が取り組むスーパーグローバル大学創成支援事業にグローバルキャンパス構想がありますが、国際委員会を5つの小委員会に分け、人材を集め、上智大学と連携しながら具体的な活動に結びつけて行きたいと思います。

卒業生のネットワークを強化するためには、ソフィア会を知らない卒業生や興味を持ってない卒業生を、どのような形でソフィアのネットワークに入ってもらうのかを考えなければなりません。ソフィア会の存在意義について、在校生の時からPRし、彼らが卒業後どの国、どの地域に行っても、ソフィア会活動に興味を持ち続けていただけるようにしたいと思います。

最後に、ソフィア会の素晴らしいところを挙げていただけますか。

言葉、民族、主義信条の違いを超えてお互いがつながり、カトリック精神に基づく“他者のために、他者と共に”という上智大学の教育精神を大切にし、母校と一体となって、この精神を実践してきていることです。300を超える海外、国内、各種のソフィア会や学部学科同窓会でソフィアンたちが定期的に集い、また上智大学のための募金活動などで母校に貢献しています。

代議員や常任委員、専門委員の皆様は、自分の貴重な時間を割いてボランティアとしてソフィア会を支えていただいています。社会の中で多様な知識、経験を持ったソフィアンが集うことは、ソフィア会にとって貴重です。オールソフィアンの集い（ASF）やオールソフィアンのクリスマス（ASC）などさまざまなイベントを通じて、上智大学の教育精神を再認識し、実践できる場が生まれていると思います。

他にも、ソフィア会活動を活性化する取り組みが次々と続きます。そのひとつが会報の発行。ソフィア会は1960年代から会員向けに定型封筒に入るサイズの「ソフィアだより」を発行していましたが、1980年代後半からソフィアンズナウと名前を変え、内容を充実していきます。日本経済が“バブル”の言葉に象徴されるように加熱されたこともあって、当時のソフィアンズナウは卒業生が所属する企業の広告も多数掲載される、立派なつくりになっています。

さらに、ソフィア会拡大への取り組みは続きます。それまで任意で設立され活動していた各種・地域のソフィア会を登録団体として登録、海外も含めたソフィア会のグローバルな全学同窓会ネットワークとしての基盤を築き上げます。そして、会員相互のコミュニケーション手段としてソフィア会Webサイトを再構築、メールニュースも配信。ソフィア会員同士がワールドワイドで自由に情報をやり取りする基盤を構築しました。

ソフィア会全国大会やアジア・ソフィア会など、新たな取り組みもスタートしています。2017年4月にはソフィアタワーに新しいソフィアンズクラブも誕生し、今、ソフィア会は今まで経験したことがない新たな時代に向けて歩みだしたといえるでしょう。

ソフィアンズナウの前に発行されていた会報「ソフィアだより」

「ソフィアンズナウ」はもともと、ASFのガイドブックとして発行された

ソフィア会の歴代会長

	氏名	卒年	学部学科	任期
第1代	西村三千輔（にしむら・みちすけ）	1918	商	1937-1948
第2代	木村鉀介（きむら・こうすけ）	1919	商	1948-1956
第3代	遅塚世六（ちづか・せいろく）	1921	商	1956-1971
第4代	渡辺慎介（わたなべ・しんすけ）	1940	商	1971-1987
第5代	諸橋晋六（もろはし・しんろく）	1947	商	1987-1999
第6代	大谷啓治（おおたに・けいじ）	1953	文哲	1999-2005
第7代	本多義人（ほんだ・よしと）	1961	経経	2005-2008
第8代	和泉法夫（いずみ・のりお）	1970	理機	2008-2014
第9代	上原治也（うえはら・はるや）	1969	経営	2014-2017
第10代	戸川宏一（とがわ・こういち）	1963	経商	2017-

2017年春季全国代議員会

「会員資格の変更と会則改定」などを承認

ソフィア会は5月20日(土)午後1時から上智大学6号館(ソフィアタワー)1階の101教室において、2017年春季全国代議員会を開催しました。

代議員会ではまず、上原治也ソフィア会会長が「昨年の秋季代議員会で提案した『会員資格の変更と会則改定』は資料や説明が十分でなかったこともあり継続審議となった。その後ソフィア会は終身会費特別委員会を設置し、時間をかけて議論を重ねてきた。本日は改めて審議いただきたい」と今回の代議員会の主要課題を明らかにしました。

来賓としてお招きした髙祖敏明上智学院理事長、曄道佳明上智大学長に祝辞をいただいたあと、上原会長が議長となり審議に入りましたが、今回は特に継続審議となっていた「終身会費と会員資格に関する件」に多くの時間を割きました。

まず、「終身会費金額の変更」および「代理徴収方法の変更」について補足説明、質疑応答を行いました。代議員から質問や意見、提案が出され、それぞれについて各委員が回答、説明を行いました。続いて、「会員資格の変更と会則改定の件」を審議。「卒業生全員を会員とするのが同窓会の基本理念」として会則第5条(会員の構成)は変更せず、新たに「第5条の2」条として「正会員は同窓会積立金(終身会費)を納めるものとする」などを追加することを提案。最終的に代議員の挙手により多数で会則改定案は承認されました。

また、次期の会長・副会長・監事なども役員選考委員会の答申書に基づき選任され、戸川宏一新会長(1963経商)以下の、次期3年間の役員体制がスタートしました。

【決算】自2016年4月1日～至2017年3月31日
【予算】自2017年4月1日～至2018年3月31日

項　目	2016年度収支決算書 2016年度予算(円)	2016年度収支決算書 2016年度実績(円)	2017年度収支予算書 2017年度予算(円)
【収入の部】			
1　同窓会積立金(終身会費)(注1)	60,000,000	44,545,000	45,000,000
2　入会金収入	100,000	20,000	100,000
3　維持会費(任意)収入	5,000,000	3,715,281	3,900,000
4　上智学院預け金利息	3,400,000	4,025,858	3,400,000
5　カード手数料収入	4,000,000	3,564,173	3,500,000
6　クラブ使用料収入	2,400,000	1,802,306	3,400,000
7　受取利息	20,000	182	2,000
8　その他収入(ネットショッピングなど)	1,600,000	451,092	1,000,000
9　ソフィアンズクラブ・事務局移転に伴う積立金取り崩し金額(注2)	9,600,000	5,552,255	2,680,000
10　積立金取り崩し金額(注3)	—		8,300,000
収入　計	**86,120,000**	**63,676,147**	**71,282,000**
【経常支出の部】			
1　事務局費			
事務局費用	14,290,000	13,999,053	14,850,000
2　事業費			
① 広報費	6,250,000	6,646,758	8,222,000
② ソフィアンズクラブ	5,240,000	4,514,283	6,100,000
③ 未来募金	14,000,000	14,004,800	14,000,000
④ ASF運営費	4,000,000	2,696,913	4,000,000
⑤ 地域・各種ソフィア会連携推進費	4,450,000	3,879,164	4,700,000
⑥ 学生支援事業	9,500,000	9,308,640	9,500,000
⑦ その他事業費(金ルビー銀銅祝、ゴルフ、クリスマス、国際委員会)	2,890,000	2,102,835	1,780,000
⑧ 学部学科同窓会支援費(注4)	—	—	1,000,000
⑨ 常設委員会費(役員選考委員会・被顕彰者選考委員会)(注5)	—	519,622	250,000
⑩ NEXT100委員会費(注6)	1,250,000	610,679	650,000
⑪ オリンピック・パラリンピック支援委員会費(注7)	—	145,153	1,400,000
⑫ ITインフラ支援費	1,150,000	1,128,000	1,150,000
事業費　計	**48,730,000**	**45,556,847**	**52,752,000**
3　ソフィアンズクラブ・事務局移転関係費(注2)	9,600,000	5,552,255	2,680,000
4　予備費	3,500,000	0	1,000,000
5　基金積立額	10,000,000	0	0
経常支出　計	**86,120,000**	**65,108,155**	**71,282,000**
当期収支(収入 - 経常支出)	**0**	**-1,432,008**	**0**
積立金			
期首積立額	402,203,868	402,203,868	395,219,605
基金積立額	10,000,000	0	0
当期収支差額の取り崩し	0	1,432,008	0
当期積立金の取り崩し	9,600,000	5,552,255	10,980,000
期末積立額	**402,603,868**	**395,219,605**	**384,239,605**

(注1) 同窓会積立金(終身会費)は、学生が納入した時点で、これを分割前払で納入したものとしてソフィア会の収入として計上し、同時に上智学院に預けています。2017年度新入生からの4年次一括徴収への変更に伴い、2016年度と2017年度の同窓会積立金(終身会費)は、両年度とも新入生分の収入が減少になります。2016年度は予算策定時に徴収方法の変更が決まっていなかったため、減収に対する然るべき予算措置を講じておりません。

(注2) ソフィアンズクラブ・事務局移転に係る2017年度予算は、2016年度予算と同様、春季全国代議員会での承認を前提として、必要相当額(268万円を上限)を積立金から取り崩しこれに充当します。

(注3) 2017年度は2016年度と同様、同窓会積立金(終身会費)の減収が見込まれますので、ソフィア会の運営に支障をきたさぬよう、春季全国代議員会での承認を前提に、積立金から必要相当額(830万円)を取り崩します。

(注4) 学部学科同窓会への支援強化を図るために勘定科目を新設します。

(注5) 2017年度より、「役員選考委員会関係」と「その他事業費」の一部であった「被顕彰者選考委員会関係」をまとめて、「常設委員会費」の勘定科目を新設します。

(注6) 「その他事業費」の一部であった「NEXT100プロジェクト」は2015年度より分離。2017年度より「NEXT100委員会費」と勘定科目名を変更します。

(注7) 2017年度より、「その他事業費」の一部であった「オリンピック・パラリンピック特別委員会運営費」を分離して、「オリンピック・パラリンピック支援委員会費」として勘定科目を新設します。

2017年秋季全国代議員会

「常任委員枠の拡大」などを承認

ソフィア会は秋季全国代議員会を 10 月 21 日（土）14:30 から、学内 6 号館（ソフィアタワー）1 階 101 教室で開催しました。

冒頭の挨拶で、戸川宏一ソフィア会会長は「ソフィア会員は 14 万人を数え、今からソフィア会の将来ビジョンを考えていかなくてはならない。同時にソフィアンのネットワークをさらに強化する必要がある」と述べました。

続いて来賓としてお越しいただいた髙祖敏明上智学院理事長、曄道佳明上智大学長の祝辞のあと、再度戸川会長が登壇し「ソフィア会新体制報告と主な活動計画」を報告。2017 年 5 月にスタートした戸川新体制が取り組んだ主な業務を説明するとともに、「総合調整委員会」、「ソフィア会将来ビジョン検討委員会」の設置など新体制の狙いについても紹介しました。

続いて議事審議に入り、新規代議員、推薦会員、新規登録団体については提案の通り拍手で承認されました。「ソフィア会会則の一部改定」は、常任委員枠の拡大（現行20名以内を25名以内に）は承認、「ソフィア会終身会費名称の変更」は審議保留としました。役員選考委員会規程の一部改定、被顕彰者選考委員会委員選出の件については原案通り承認されました。

報告事項は「新常任委員、専門委員会委員」、「第 9 回地域ソフィア会全国大会 2017 名古屋大会」、「ソフィア会学生活動支援金の贈呈」など 8 項目。終身会費特別委員会の解散にあたり「終身会費 4 万円への増額を 2017 年 4 月以降の入学者に適用し最終年次の学費請求時に上智学院 が一括代理徴収する」などが報告されました。

会員大会と祝典　戸川新会長が会務を報告

5 月 28 日（日）の「オールソフィアンの集い（ASF）」当日の 10:30 から、6 号館（ソフィアタワー）1 階の 101 教室でソフィア会会員大会を行いました。

5 月 20 日の全国代議員会で就任したばかりの戸川宏一新会長が、この間審議してきた終身会費金額や代理徴収方法の変更、会員資格に関する会則改定などソフィア会の取り組みについて説明。続いて、ASF2017 実行委員長の杉本隆一郎さん（1998 経営）が登壇し、ASF の見どころなどを紹介しました。

会員大会は 10:50 には終了、その後休憩をはさんで金・ルビー・銀・銅祝式典が行われ、全員での校歌斉唱のあと、曄道佳明上智大学長、髙祖敏明上智学院理事長の式辞に続き、戸川ソフィア会会長が祝辞。その後、各代の代表者が卒業当時の思い出などを交えながら挨拶しました。式典終了後は、それぞれ学内に用意された会場で祝賀会を行い、旧交を温めあっていました。

2016年度ソフィア会重点施策の実施結果（ソフィア会会則第30条にある事業報告書を兼ねる）

1. 上智学院・大学との連携強化

— 上智学院・大学行事への積極的な支援・参画
— SOPHIA 未来募金支援の強化
— 留学生支援
— オリンピック・パラリンピック企画プロジェクト・チームへの協力

結果 国際委員会を中心に留学生へのスピーチコンテストへの支援、上智大学のオリンピック・パラリンピックに関する協力関係の具体化、その他未来募金への協力

2. 新ソフィアンズクラブ開設及びソフィア会事務局の移転に伴う具体的な活動

— スペースの割り振り、設備機器・器具、運営方法、利用規程の検討

結果 新ソフィアンズクラブ委員会において具体的な活動により、上智学院・大学の協力を得て無事 2017 年 4 月開設

3. ソフィア会オリンピック・パラリンピック支援特別委員会の活動拡大

結果 活動をサポートするボランティアの募集、ベニューツアーの開催、ブラインドサッカー体験会の実施など具体的な活動に着手

4. 新たな100年に向けてのソフィア会事業の取り組み

— グローバルな同窓会組織への発展の検討
— NEXT100 プロジェクト推進による横の連携強化（海外メンター制の推進、健康・福祉支援の推進など）
— 女性・若い世代の参画する組織体制・事業の検討

結果 NEXT100 委員会のワーキンググループの活動の活発化。特に、健康福祉、起業、ウーマンズグループなどの活動

5. ソフィア会員との絆の強化

— ソフィア会 Web への投稿の推進と Facebook の活用強化
— 月 2 回配信メールニュースの継続とメール会員の増加
— ソフィアンズナウの定期的発刊
— 会員参加企画の充実（ASF / ASC / ゴルフ大会・講演会等）

結果 ソフィアンズナウの定期刊行、メールニュースの配信（44,626 人 *2,919 人増）
Facebook 活用継続（登録：約 7000 人 *200 人程度増）

6. 学部・学科同窓会、地域・各種ソフィア会活動に対する連携・支援強化

— 学部学科同窓会の支援強化
— 第 8 回地域ソフィア会全国大会（宮城大会）実施によるネットワーク強化
— 新規の地域・各種ソフィア会設立の支援

結果 宮城県仙台市における第 8 回地域ソフィア会全国大会（参加者 176 名）の開催。また、各地域ソフィア会総会及びイベントへのソフィア会役員・常任委員の参加などにより連携を促進 6 団体の地域・各種ソフィア会（地域 1 団体・各種 5 団体）のソフィア会への新規登録を支援

7. ソフィア会の健全な発展に向けての財政基盤の強化

— 維持会費年間目標 500 万円の達成協力依頼と広報活動の強化
— 維持会費自動引き落とし利用者の増強

結果 同窓会費値上げと徴収時期の変更問題への取り組み、維持会費納入の達成率は 74.3%

8. 最高議決機関としての全国代議員会の役割強化と参加率の向上

— 代議員の Web・メール利用の周知と利用率 100% をめざす
— 代議員の専門委員への参画強化

結果 オリンピック・パラリンピック支援特別委員会、新ソフィアンズクラブ委員会の代議員増員により活動を活性化

9. 現役学生支援強化と学生との連携企画の充実

— 継続的課外活動支援（予算 800 万円）
— 学生との連携企画（ASF・ASC・講演会等）
— 就活支援企画

結果 学生課外活動支援 800 万円（文系 22 団体・1 個人、体育会 41 団体）の実施。
就活支援企画の実施

Go Global Sophians!

石澤良昭上智大学教授　アジア人材養成研究センター所長、元学長

ソフィア・ミッションとしてのアンコール・ワット遺跡修復事業を手掛ける

アジアのノーベル賞といわれるマグサイサイ賞を受賞された石澤良昭先生。永年取り組まれてきたアンコール・ワット遺跡修復保存事業が評価されました。自らは黒子に徹し「カンボジア人による、カンボジア人のための」を掲げた、その先生の思いを聞きました。

マグサイサイ賞の受賞、おめでとうございます。アンコール・ワット遺跡保存修復事業での功績が認められたわけですが、これに取り組むきっかけからお聞きします。

まだ学生時代の1961年、当時の仏領インドシナのカンボジアに旅立ちました。そこでアンコール・ワット遺跡を見て、すぐにその修復をやろうと決意しました。800年も前に、こんなに巨大なものをどうやって作ったのか、またそれだけの社会が当時あったのだということに衝撃を受けたのです。

当時は仏領ですから、フランスの公共研究機関であるフランス極東学院が独占的に遺跡の保存、修復、研究を手掛けていて、日本人が入り込む余地はありませんでした。しかし私はフランス語ができたのが幸いし、快く受け入れてくれました。カンボジアの保存館で研修し、フランス人の先生から現場の作業を教えてもらい、自分も研究しようと決意したわけです。

しかしその後、カンボジア内戦が勃発しますね。

1970年にカンボジアに暗雲が立ち込め、ベトナム戦争のあおりで国内が政治混乱、4派に分かれての内戦が始まったのです。ポルポト政権の成立でカンボジアに入れなくなりました。内戦がようやく終結した1980年に報道番組のためにテレビのクルーと一緒にカンボジアに行ってみると、かつて40名いたカンボジアの友人がたったの3名に減っていました。そこで、カンボジア人によるカンボジアのための保存修復を掲げて、人材養成と遺跡修復工事を始めたわけです。そしてこれがソフィア・ミッションにつながっていくわけです。

今先生がおっしゃった「カンボジア人による、カンボジア人のための」というところが、今回のマグサイサイ賞受賞にもつながっていくわけですね。

そうですね。どうしてそのようなことを考えたかというと、極東学院のフランス人の先生は「カンボジア人ではできないから自分たちがやる」という考え方なんですね。アンコール・ワット遺跡の修復は、いうなればフランスの国威発揚の道具に使われていたわけです。しかし、カンボジア人と一緒に研修を受けてみると、結構手先は器用で遺跡を直す感性のようなものを備えていて、私はカンボジア人がやるとできると思ったのです。ポルポト時代が終わってヘンサムリン政権という傀儡政権になって、フランス人も引き上げ、カンボジア人だけになったときに私が入っていったわけです。

それが、ソフィア・ミッションだったわけですね。

当時上智大学学長だったヨゼフ・ピタウ先生が、1979年にカンボジア難民救済に立ち上がります。それに呼応して私たちはカンボジアに入り、カンボジア人のアイデンティティの再構築と文化復興、平和構築に取り掛かるわけです。アンコール・ワットという文化遺産を使ってそれを実現しようとしたのです。

ピタウ先生は難民救済、そして私はアンコール・ワットの遺跡を救済するという2つの大きなミッションがあったわけです。カンボジアでは24年間も戦争があって、まさにゼロからの国家建設が始まったときに、私たちはソフィア・ミッションを掲げて、カンボジア人も、そして遺跡も救うということを考えました。

遺跡修復についても、単に文化遺産を直す建築技術的なことではなくて、アンコール・ワットに込められているカンボジア人の信仰心を呼び起こし、4派にわかれて戦っていた人たちの和解の場にしようと。そしてその場から自分たちの文化をもう一度復興する。それが平和構築につながるという考えです。遠大な計画ですが、それが今まで続いているということです。

カンボジア人は手先が器用という話がありましたが。

遺跡修復でも、単に石を置いていくということではなく、彼らには独自の感性のようなものがあるのですね。やはり、800年前にあれだけのものを作り出した、その感性がカンボジア人にはあるのです。彼らはフランス極東学院時代には単なる作業員として働いたわけですが、本来備えていた器用さ、感性といったものがあるし、それを生かした人材養成が必要だと感じたわけです。

ですから私たちはあくまで現地の人を育て、現地の人で修復できるようにする、つまり「カンボジア人による、カンボジア人のための」遺跡修復を支援するという立場なのです。私たちは黒子に徹して、彼らが直せばいい。マグサイサイ賞でも、この文化復興と人材養成が評価されたようですね。

しかし、ここに来るにはいろいろなご苦労があったと思います。

一番は、財政問題です。保存修復には時間がかかりますから、毎年数百万というお金が必要です。そのために募金活動をしたり、私自身もアンコール・ワット遺跡の観光案内をして、観光客の方々に100ドル、50ドルと寄付していただいたり。小さなことですが、継続していくための資金源は自前で用意しなければなりません。会社まわりをして寄付を仰ぐこともあります。

一方、カンボジアに学ぶことも多かったのでは。

そうですね。やはりカンボジア人にはアジア共通の基盤を感じますね。アンコール・ワットを作った人たちもすごいですが、やはりカンボジアの風俗、習慣、社会というのはしっかり確立していまして、学ぶことは多いです。カンボジア人の所得は日本人に比べると格段に少ないのですが、しかし元気なんです。生きる喜びに満ち溢れているのです。信仰をしっかり持っていて、大地を踏みしめて生きている。そういうところがカンボジア人の偉いところで、日本人のように物質的ではありませんが、しっかりした信仰をもって生きているのです。

ソフィア・ミッションは、国際交流のあり方を根本的に変える力があったと思うのです。現地に研究センターを作って現地の人を養成し地元に尽くすということでは、まさにイエズス会の布教活動に似ているとも思っています。

ありがとうございました。

ソフィアンの広場

海外ソフィア会　44か国65都市に！

この半年の間、多くの地域ソフィア会、各種ソフィア会が日本はもとより、世界各地で会を催し、多くのソフィアンが集い、旧交を温めました。ここでは、誌面の都合でごく簡単な紹介しかできませんが、詳しくはソフィア会 Web サイトでご覧ください。

ワシントン DC ソフィア会

開催日：2017.03.16

グローバル教育センターの春原先生と学生の一行を迎えて懇談会を開催しました。

ソウルソフィア会

開催日：2017.04.06

桜の咲き始めたソウル弘大のレストランで定例会を開催しました。

ミラノソフィア会

開催日：2017.05.11

約２年ぶりにミラノソフィア会を開催。スイス･ルガノ在住のソフィアンも参加してくれました。

サンティアゴ・ソフィア会

開催日：2017.05.22

英語もスペイン語も通じない中華料理店で懇親会を開催しました。

台湾ソフィア会

開催日：2017.06.10

今年度の年次総会兼懇親会を開催しました。

フランス・ソフィア会

開催日：2017.06.16

今年度第一回目の懇親会を開催しました。

メキシコソフィア会

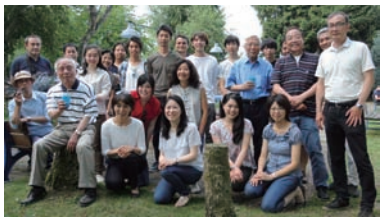
開催日：2017.06.25

滝本会長の旭日双光章受章を記念して祝賀会を開催しました。

マドリード・ソフィア会

開催日：2017.06.26

イスパニア学科の留学生の帰国送別会を兼ねた夏のソフィア会を開催しました。



デュッセルドルフソフィア会

開催日：2017.07.08

恒例の夏のイベント、バーベキュー大会を開催しました。

アムステルダムソフィア会

開催日：2017.07.21

年に数回不定期に集まっていますが、今回は春・夏の食事会を開催しました。

ジャカルタ・ソフィア会

開催日：2017.07.23

バーベキュー大会を開催しました。当日は BBQ 日和でした。

マレーシアソフィア会

開催日：2017.08.26

親睦会を開催しました。

マニラ・ソフィア会

開催日：2017.09.01

マグサイサイ賞を受賞された石澤先生をお迎えして祝賀会を開催しました。

UAE ソフィア会

開催日：2017.09.14

ドバイ、アラインのソフィアンにも参加いただきアブダビで懇親会を開催しました。

モスクワソフィア会

開催日：2017.09.18

毎年３月と９月に開催している定例会ですが、今回は秋の定例会を開催しました。

アイルランドソフィア会

開催日：2017.09.22

新会員・元会員の歓迎と帰国される会員の歓送を兼ねて夕食会をもちました。

ソフィアンの広場

海外ソフィア会

国内ソフィア会　46都道府県81団体

NY ソフィア会

開催日：2017.09.30

NY ソフィア会、青学同窓会、鎌倉会関係者 42 人でロングアイランドのレンズワイナリーツアーを楽しみました。

日野ソフィア会

開催日：2017.04.15

当会は春と秋の年 2 回、茶話会形式でこじんまりとおしゃべり会を実施しています。

札幌ソフィア会

開催日：2017.05.26

地域懇談会の前日、札幌ソフィア会の総会・懇親会を開催しました。

福岡ソフィア会

開催日：2017.06.02

懇親会はさながら大学の「地域懇談会前夜祭」のごとくになりました。

横須賀ソフィア会

開催日：2017.06.09

荻野会長邸でホームコンサートを開催しました。

熊本ソフィア会

開催日：2017.06.17

総会・懇親会を開催。共通の話題は新たな母校のシンボル、ソフィアタワーでした。

広島西部ソフィア会

開催日：2017.06.16

大学の地域懇談会に合わせて例年より早めの「夏の交流会」を開催しました。

宮城ソフィア会

開催日：2017.06.25

今年度総会・懇親会を開催。今年から、ソフィア会メールニュースで案内していただいています。

埼玉西部ソフィア会

開催日：2017.07.01

飯能市で懇親会を開催。終了後は名栗川上流の“久林”河原でホタル観賞を満喫しました。

滋賀ソフィア会

開催日：2017.07.01

臨時総会と懇親会を開催しました。

板橋ソフィア会

開催日：2017.07.02

第 23 回総会・懇親会を開催しました。

逗葉ソフィア会

開催日：2017.07.08

手品、プチコンサート、じゃんけん大会等に徹するという当会のポリシーを貫いた楽しい懇親会を開催しました。

調布・狛江ソフィア会

開催日：2017.07.15

学生センターとの共催で、世田谷区にある祖師谷国際交流会館を会場に開催されました。

千曲川ソフィア会

開催日：2017.07.22

第 11 回総会を開催しました。

さいたまソフィア会

開催日：2017.07.22

第 16 回総会を開催しました。

石川ソフィア会

開催日：2017.07.23

総会・懇親会を開催し、太田敏明（81 法法）第 4 代会長以下新体制がスタートしました。

山梨ソフィア会

開催日：2017.09.09

日野ソフィア会、群馬ソフィア会、アルプスソフィア会にもお声をかけて、「ソフィアタワー訪問－講演会とパーティー」をソフィアタワー6階ソフィアンズクラブで実施しました。

各種ソフィア会　142団体

SNSソフィア会

開催日：2017.01.20

永年慣れ親しんできた北門横のソフィアンズクラブでの最後の新年会を開催しました。

日本生命ソフィア会

開催日：2017.03.01

平成 28 年度日本生命ソフィア会を開催しました。

日欧事情研究会

開催日：2017.03.23

フランス国立科学研究センター（CNRS）の音声言語研究所　元主任研究員の西沼行博氏（72 外仏）による講演会を開催しました。

外英71年入学同期会

開催日：2017.04.14

新ソフィアンズクラブにて懇親会を開催しました。

体育会自動車部 OB 会

開催日：2017.04.15

新ソフィアンズクラブにて自動車部 OB/OG 総会を開催。創部 85 周年にふさわしい会になりました。

酒讃会

開催日：2017.04.15

定例総会を開催しました。来年の金祝での再会を約しました。

碁鷺会

開催日：2017.05.27-28

ASF 前日は麹町・ダイヤモンド囲碁サロンにて囲碁大会。ASF 当日はおなじみの「囲碁サロン」を 1 号館教室で開催しました。

デュッセルドルフ東京会

開催日：2017.05.28

ASF の日、当会恒例、SJ ガーデンの集いを持ちました。

体育会ソフトテニス部OB会

開催日：2017.05.28

OB21名と現役の参加により OB 会総会を開催しました。

体育会フェンシング部OB会

開催日：2017.05.28

ASF 当日、「フェンシング部創部 50 周年記念式典」を四谷キャンパスの教室にて実施しました。

アビオンソフィア会

開催日：2017.06.13

新ソフィアンズクラブにて、「アビオンソフィア会　春の懇話会」を開催しました。

体育会アイスホッケー部OB会

開催日：2017.06.18

新ソフィアンズクラブで、2017 年度の OB 総会と懇親会を開催しました。

竹内一郎ゼミ OB･OG 会「竹の子会」

開催日：2017.06.25

西多摩霊園にある竹内先生ご夫妻のお墓へお参りに行ってきました。

NEC宇宙ソフィア会

開催日：2017.07.05

新たなソフィアンの歓迎会を兼ねて今年度第一回懇親会を開催しました。

その他、スペースの関係でご紹介できませんが、右記の団体から投稿をいただきました。ソフィア会 Web サイトへの掲載月日も記しましたので、Web にて該当記事を閲覧ください。

団体名	開催日	HP掲載月日
イスパニア語学科 1971 年卒	2017.04.03	2017.04.17
観光研究会 (S39 入同期会)	2017.06.09	2017.07.05
湘南ソフィアンズの会	2017.06.10	2017.06.28
レッドハットソフィア会	2017.07.12	2017.07.20
57 年卒ボッシュタウンソフィア会	2017.09.15	2017.10.06

EVENT & REPORT

「Daddy Long Legs ～あしながおじさん」上映会＆トークショーを開催

ソフィア会は上智大学との共催で、10月26日（木）、2号館17階会議室でドキュメンタリー映画「Daddy Long Legs ～あしながおじさん」の上映会と、その監督である篠田伸二さん（1985 外葡）によるトークショーを行いました。映画の初上映はぜひ母校でとの監督の希望で実現したものです。

交通遺児の教育支援で知られる「あしなが育英会」は 2000 年からウガンダで「レインボーハウス」を運営し、極貧生活を送っているエイズ遺児を教育面から支援しています。子供たちの現状を目にしたあしなが育英会創設者の玉井義臣氏は「教育こそが絶望を希望に変える」ことを訴えるために、ウガンダの子、東北の津波被災の子、小説「あしながおじさん」の作者ジーン・ウェブスターの出身校ヴァッサー大学の学生で、NY ブロードウェイのステージに立つという途方もない企画を思い立ちます。これを映像化したのが篠田さんです。

映画では、ウガンダの子供たちの卓越したリズム感、東北の子供たちのやり場のない想いを込めた太鼓の音、環境に恵まれた裕福なヴァッサー大学生などが登場。誰もが難しいと感じたこのコラボレーションを見事にまとめたのは、英国の名演出家ジョン・ケアードでした。そして、コーラスの指導はヴァッサー大学のクリスティーン。ウガンダ、東北での練習を経て、舞台はいよいよ日本プレ公演、そしてブロードウェイへ。それぞれの子供たちの日常を追いながら映像は進みます。観客の皆さんは涙を拭きながら、食い入るように映像を見つめていました。

篠田さんはトークショーで「ドキュメンタリーという形にしたのは映像の持つ力を信じるから。日本語版と英語版を制作し（フランス語版も準備中）日本のみならず海外での放送、そしてインターネットを通じて、多くの応援者を増やしたい。来年６月ごろには劇場公開を目指すが、その後はこの映像を利用したい人に無償で貸出も想定している。この作品がアフリカの若者たちに関心を持つきっかけになれば、その先で支援の気持ちが芽生えてくれたら嬉しい。ソフィア会の皆様も上映会の企画、SNS の発信などぜひご協力いただきたい」と語りました。

講演会後はソフィアンズクラブに場所を移し、懇親会を行い、会員間の交流を深めました。

学生課外活動支援金を 63 団体に

現役学生への課外活動支援金贈呈は、ソフィア会の大きな目的である「大学への貢献」の中心的な活動です。今年も、7 月 25 日（火）、学内 2 号館 1701 会議室において 2017 年度の学生課外活動支援金（予算 800 万円）を 63 団体（文化系 22 団体、体育会 41 団体）に贈りました。

学生の課外活動は年々活発になっています。文化系団体では、伝統的な演劇、音楽などの団体に加え、大震災からの復興や地域の福利活動に取り組むボランティア団体、アジア諸国の恵まれない子どもたちの自立・教育支援に取り組む団体の活動が目立ちます。

一方、体育会各部に所属する学生数は 1,600 名と学部学生 12,600 名の 1 割を大きく上回り、全国大会や関東大学のトップリーグで活躍する競技団体も。今年の第 58 回上南戦でも 22 勝 9 敗で総合優勝しています。

贈呈セレモニーには、来賓として大学からサリ・アガスティン副学長、柳澤学生局長、栗原学生センター事務長を迎え、ソフィア会役員、常任委員が出席し、63 団体の代表者一人ひとりに戸川宏一ソフィア会会長から贈呈目録が手渡されました。

雷雨に見舞われた 2017 ソフィアンズカップゴルフ大会

9 月 8 日（金）、第 22 回ソフィアンズカップゴルフ大会を開催しました。

今年の会場は、4 年ぶりに神奈川県箱根町の箱根カントリー倶楽部で行い、152 名のソフィアンが参加。午前中に突然の雷雨で約 1 時間の中断を余儀なくされ、夕方再び雷雲の到来で、6 組 24 名のプレーヤーが競技途中で引き揚げざるを得ない状況となりました。

全員がホールアウトできなかったため、前半のスコアで順位をつけて表彰を行わざるをえなくなりましたが、参加者の温かいご理解をいただき、懇親会、表彰式を普段通りに和やかに実施することができました。

主な成績は次の通りです。

優　勝：佐藤 文久（1973 理機）

準優勝：高橋 准一（1976 外英）

なお、ショートホールのチャリティーで集まった 15 万 8,400 円を SOPHIA 未来募金として寄付しました。

ネオソフィアン、秋の BBQ パーティ

9 月 30 日（土）、ネオソフィアンは秋の BBQ パーティを 2 年ぶりに開催しました。場所は四谷キャンパス内の、通常は入ることができない「SJ ハウス･クルトゥルハイム庭園」。

今回は、世界 55 カ国以上の食を巡る旅、70 カ国の大使館と食のイベントを開催してきた、グローブキャラバンのシェフの寺脇加恵さん（2000 法法）にお願いし、料理のプロフェッショナルが調達する最高品質のお肉、お野菜、魚介類を提供していただきました。OBOG と現役生 54 名が参加、緑に囲まれた素敵な庭園での BBQ パーティを楽しみました。

ソフィア会の登録団体である上智大学ネオソフィアン "Neo Sophians' Network" は、上智大学の卒業生 OBOG や現役学生有志が集まり、仕事や学業の合間を縫って異業種交流会「ネオソフィアン」をはじめ、このバーベキューをはじめキャリアセミナーなど、さまざまなイベントを企画運営しています。

この BBQ パーティに先立ち、4 月 28 日にはソフィアンズクラブで元ナイキ日本法人社長秋元征紘さん（1968 経経）と作詞家売野雅勇さん（1974 文英）をお招きしトーク･イベントを開催しています。

第９回地域ソフィア会全国大会「名古屋大会」

講演は「脱グローバル時代の異文化コミュニケーション」

第９回地域ソフィア会全国大会「2017名古屋大会」が9月23日(土)、24日(日)の両日、名古屋ソフィア会をホスト・ソフィア会に、また岐阜･静岡県･三重･岡崎のソフィア会をコ･ソフィア会として、愛知県名古屋市の「ウインクあいち」などで開催されました。同大会には海外ソフィア会も含め過去最大となる254名のソフィアンとそのご家族が参加。各ソフィア会が抱える課題やソフィア会の将来について話し合うとともに、地域を超えて交流を深めました。

地域ソフィア会の連携をいかに実現するか

13:00から名古屋駅前のウインクあいち大ホールで行われた第１部の情報交換会では、ホスト･ソフィア会の名古屋ソフィア会武田英裕会長をはじめ、コ･ソフィア会の代表者や上智学院の佐久間勤総務担当理事などが登壇。中部･東海各県の地域ソフィア会の現状と課題、地域ソフィア会とソフィア会本部との連携などについて語りました。

続いて川島葵さん(2005文新)の司会で大会をスタート。武田名古屋ソフィア会会長の歓迎挨拶につづき、戸川宏一ソフィア会会長がソフィア会の課題を明らかにしながらそれに取り組む姿勢を説明。来賓挨拶として髙祖敏明上智学院理事長が大学の最近の取り組みを紹介。曄道佳明上智大学長が「大学のさまざまな課題についてはソフィア会と大学が一体となって取り組みたい」と決意を語りました。

上智に期待する異文化コミュニケーション

続く記念講演のテーマは、ソフィア会副会長で立教大学名誉教授などを務める鳥飼玖美子氏(1969外西)による「脱グローバル時代の異文化コミュニケーション」。

この中で鳥飼氏は「世界ではイギリスのEU離脱、アメリカ・ファーストを掲げる米トランプ大統領の誕生など自己優先主義、グローバル化へ逆流する動きが続いている。また、企業などでも多様化への対応、ダイバーシティへの取り組みがある」と現状を分析、「その中で私たちが取り組まなければいけないのは異文化コミュニケーションである。自分とは異なる言語、文化を持つ人といかにコミュニケーションをするかが重要」と指摘。ここで重要なのは、上智大学が掲げる「他者のために、他者とともに」のような寛容さであり、異文化コミュニケーションでは「多言語に対応できる上智大学のリソース、そしてソフィア会の取り組みに期待したい」と講演を締めくくりました。

世界のソフィアンが交流する懇親会

17:30からは、会場を近くのキャッスルプラザに移し懇親会を開催。姉妹校である南山大学応援団OBと上智大学応援団OBによるエール交換。その後、歴代ソフィア会会長が壇上に上がり、上原治也前ソフィア会会長の乾杯で懇親会を開始しました。

髙祖理事長、曄道学長など大学関係者も参加、会場の至る所で久しぶりに会うソフィアン同士の旧交を温める歓声や、ソフィア会の在り方について語り合う姿が見られました。全員肩を組んでの校歌斉唱の後も、同じキャッスルプラザで行われた二次会や、それぞれの仲間との懇親の場でソフィアン同士が語らう姿が見られました。

天候にも恵まれ、翌24日は①国宝犬山城と木曽川鵜飼を鑑賞するコース、②知多半島の醸造文化、焼き物文化にふれ、伊勢湾の海の幸を楽しむコース、③ゴルフコースの３つに分かれ、エクスカーションが行われました。

地域ソフィア会全国大会の足跡

第1回　九州大会＜開催地:北九州市＞
ホスト:北九州ソフィア会
参加者:100名
日　時:2009年11月7日(土) 13:00～

第2回　関西大会＜開催地:大阪市＞
ホスト:関西ソフィア会
参加者:190名
日　時:2010年11月6日(土) 13:00～

第3回　山梨大会＜開催地:甲府市＞
ホスト:山梨ソフィア会
参加者:210名
日　時:2011年10月22日(土) 13:00～
10月23日(日)エクスカーション

第4回　函館大会＜開催地:函館市＞
ホスト:札幌ソフィア会
参加者:226名
日　時:2012年10月6日(土) 13:00～
10月7日(日)エクスカーション

第5回　東京大会(大学創立100周年記念拡大大会)
ホスト:上智大学ソフィア会
参加者:450名
日　時:2013年10月19日(土) 14:10～
10月20日(日)エクスカーション

第6回　新潟大会＜開催地:新潟市＞
ホスト:新潟ソフィア会　参加者:185名
日　時:2014年9月27日(土) 13:30～
9月28日(日)エクスカーション

第7回　広島大会＜開催地:広島市＞
ホスト:広島西部ソフィア会　参加者:232名
日　時:2015年10月3日(土) 13:00～
10月4日(日)エクスカーション

第8回　宮城大会＜開催地:仙台市＞
ホスト:宮城ソフィア会　参加者:176名
日　時:2016年9月24日(土) 13:00～
9月25日(日)エクスカーション

第9回　名古屋大会＜開催地:名古屋市＞
ホスト:名古屋ソフィア会　参加者:254名
日　時:2017年9月23日(土) 13:00～
9月24日(日)エクスカーション

第10回地域ソフィア会は四国･高松市で開催

2018年9月29日(土)、30日(日)

2009年にスタートした地域ソフィア会全国大会もその後順調に回を重ね、来年の2018年は「香川大会」、四国・高松市での開催が決まりました。式典および記念講演会はJR高松駅前の「かがわ国際会議場」(高松シンボルタワー棟6･7F)で、また懇親会は「JRホテルクレメント」で開催する予定です。

ホストソフィア会は香川ソフィア会で、四国各県のソフィア会がコ・ホストを務めてくれる予定になっています。エクスカーションについても、現在香川ソフィア会が鋭意計画中。ぜひ今から、2018年9月29日、30日に予定を入れてください。

いつも人気の The Sophians' Quilt Society

留学生による日本語スピーチコンテスト

経鷲会恒例のワインセミナー

ASFは朝9時半、聖イグナチオ教会でのミサでスタート

ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2017

午後は各会場でパーティ

ASF2017 実行委員会

昔懐かしい顔に

受賞者のスピーチは学生時代の思い出

新装なった 6 号館 101 教室で行われた金・ルビー・銀・銅祝式典（上智大学主催）

最後のごみ片付けにも学生のパワー

NEXT100 の健康福祉コーナー

コムソフィア賞は「暮しの手帖」編集長、澤田康彦さん

「お帰りなさいませ、ご主人様」－メイド喫茶

毎年、5 月最終日曜日に開催する「オールソフィアンの集い (ASF = All Sophians' Festival)2017」。今年も晴天に恵まれ、半年以上前から準備を進めてきた卒業生や学生が早朝から四谷キャンパスに集結。家族、友人などと連れ立って久しぶりに母校を訪れる幅広い世代の卒業生を迎えました。今年も、1 万人を超えるソフィアンが参加、母校が華やかな歓声に包まれた 1 日でした。

実行委員長、杉本隆一郎さん（1998 経営）の挨拶

101教室が聴衆で埋まった晴佐久昌英神父講演会

最後は、応援団のリードで「校歌」

ベーゼンドルファー復活のために－ピアノ・コンサート

毎年、現役や OBOG がステージを盛り上げます

石澤良昭元学長特別講演会
～ピタウ先生とソフィア・ミッション

オリパラ特別委員会主催の障がい者スポーツ支援イベント
「HEALTH ANGELS」

毎年、現役やOBOGがステージを盛り上げます

FOCUS

現役と卒業生が緊密に連携
ーグリークラブOB会

2018年に創部65年を迎える上智大学グリークラブのOB会は、ソフィア会の中でも現役とOBが緊密に連携していることで知られています。

OB会にも合唱団があり、現役の定期演奏会でも賛助出演をしたり、大学のイベントなどでも合同で演奏活動をしています。OB合唱団だけで独自に定期演奏会を開催しています。

2017年後半も、現役OBでさまざまな活動を展開してきました。7月7日（金）には、グリー現役とOBがイタリアの合唱団と聖イグナチオ教会で「日伊国交樹立150周年記念コンサート」を行っています。

イタリアから来日した男声合唱団「CORO BRIANZA」とともにヴェルディ作曲の歌劇「Nabucco（ナブッコ）」や「運命の力」などを合同演奏、満員の聖堂をハーモニーの感動で包みました。OB・現役はその合同曲に先駆けて男声合唱組曲「沙羅」や黒人霊歌などを披露。CORO BRIANZAは「最後のメモ」「マヌエラの花」やバナナボートソングなど11曲を見事なハーモニーで聴かせました。

さらに10月15日（日）、グリークラブOB合唱団は杉並公会堂大ホールで定期演奏会「Concert　2017」を開催。当日は朝からあいにくの雨でしたが、客席を埋め尽くした観客を前に黒人霊歌やグリークラブ委嘱作品の男声合唱組曲「北陸にて」などを熱唱。また、賛助出演の上智大学女声OG合唱団のは「レクイエム第2番」を披露しました。

2018年8月には名古屋で「OB上南戦」ジョイント演奏会の開催も決まっています。来年には現役の定期演奏会も第70回を迎えるなど、OB、現役が一体となって上智グリーの活動はますます広がっています。

会員は1万人以上
ー上智大学体育会OB会

体育会OB会は、体育会所属各団体のOB会からなる連合組織です。平成3年19団体で発足し現在34団体で構成され会員数は1万人以上。現役体育会の支援、OBOGの親睦のために活動を行っています。各部OB会では取り上げにくい体育施設の改善、拡充など、また大学やソフィア会と連携を図るとともに、現役体育会の運営全般へのアドバイスなども行っています。

4月22日（土）には曄道学長、サリ副学長をはじめ、多くの来賓を迎え、OB総会を9号館カフェテリアで開催。体育会OB会から上智学院へのSOPHIA未来募金の贈呈、体育会OB会活動報告・活動計画に続き、平成28年度のソフィアスポーツ大賞の表彰を行い、6団体7名の選手に賞状、記念品を授与しました。

総会では第58回上南戦の激励会も行い、矢島体育会会長、神澤学生センター長から激励の言葉をいただき、上南戦の勝利奪還に向け、斉藤伶奈上南戦副実行委員長から勝利宣言、応援団のエールで勝利を確信しました。結果はご存知のとおり、上智大学が22勝9敗で総合優勝しています。

また、上智大学マラソン大会も体育会OB会共催で実施しています。昨年は12月3日（土）、師走の晴天の下、第23回オールソフィアンズ健康マラソン大会を開催。皇居一周5kmラン49名、ウォーク15名トータル64名が参加し、全員無事に完走、完歩することができました。

今年の第24回オールソフィアンズ健康マラソン大会は12月3日（日）に開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。

垣根を越えたビジネス・ネットワークを構築
ーソフィア経済人倶楽部

ソフィア経済人倶楽部（Sophia Business Club＝SBC）は、2009年9月に発足した上智大学卒業生などの学部の垣根を超えた各種ソフィア会です。

SBCのWebサイトのこのスローガンが会の目的を端的に表しています。

「つながれ、ソフィア！～今と未来にきっと役立つネットワーク～ソフィア経済人倶楽部は、全てのソフィアンによるビジネス・ネットワーク構築を進めています。業種や世代、地域を超えてグローバルにつながりメンバー相互の交流、協力、啓発はもとより、上智大学、学生への支援を行い、広くは社会に貢献することを目指しています」

初代会長は濱口敏行さん（1967経経、現名誉会長）が務め、各界で活躍されるOBOGの交流の場として会員数を増やしてきました。そして2016年8月、新たに池田道雄さん（1974経経）が会長に就任して新執行部がスタート。よりアクティブな会員活動を目指す方針の下、活動しています。会員数は2017年10月現在574名に達しました。

2017年6月には講演会を開催、電通のコピーライター・コンセプター、梅田悟司さん（2004院前理機）にお話しいただきました。10月にはソフィアンズクラブでの会員交流会と山梨甲府へのワイナリーツアーを開催。また、11月には新しい取組みとして20～40代のソフィアンのためのビジネス・ネットワーク「Sophia Business Forum（SBF）」を始動。第1回のトーク・イベントのゲストはGoogleでご活躍のソフィアン、金谷武明さん（1995法法）にお願いしています。

母校への貢献もSBCの大きな特徴で、単位取得ができる大学との産学連携2講座をサポートしています。理工学部同窓会連携講座「つくるII」、大学・SBC連携講座「企業のグローバル人材とリーダーシップ」への講師派遣を行い、OBOGの知見と経験を活用しています。

また、SBC恒例の賀詞交歓会を2018年1月17日にソフィアンズクラブに会場を移して開催します。http://www.sophiakai.gr.jp/news/others/2018011701.html

100名を超える参加者で 12月6日から「第3回アジア・ソフィア会　カンボジア大会」

第３回アジア・ソフィア会カンボジア大会を本年12月6日(水)～10日(日)までの５日間、カンボジア・シェムリアップ市で開催します。

アジア・ソフィア会はアジア各国ソフィア会の交流による相互理解と連携を深めることを目的としてスタート。2013 年 12 月に第１回「香港・マカオ大会」を実施、2014 年 11 月の第２回「上海大会」を経て、今回第３回を迎えるものです。

本大会には、アジア各国のソフィアンや上智大学へ留学された方々に加え、上智学院から髙祖敏明理事長、佐久間勤総務担当理事、大学から曄道佳明学長はじめ教職員の皆様が参加され、総勢 100 名を超える参加者が日本とアジア各国ソフィアンの交流を深めることにしています。

また、カンボジアでは 12 世紀に建造されたアンコール・ワット、アンコール・トムやタイとカンボジア国境にまたがる“天空の寺院”プレア・ヴィヒアなどのアンコール遺跡群を、マグサイサイ賞を受賞された石澤良昭先生と三輪悟氏のご案内で訪れます。また、上智ミッションが取り組むアンコール・ワットの西参道修復工事現場や上智大学の海外研究拠点であるアジア人材養成研究センターを訪問します。

オールソフィアンのクリスマス2017(ASC2017)は12月15日です 今年は、東ティモールの支援活動に募金

ソフィア会は、公式行事として今年第 10 回目を迎える「オールソフィアンのクリスマス 2017（ASC2017）」を 12 月 15 日（金）に四谷キャンパス９号館地下カフェテリアで開催します（17:30 受付開始）。

このASCはソフィア会の会員はもとより、教職員、学生、近隣の方々が共に集い、クリスマスについて考え、交流を深め、クリスマスを迎えるイベント。今年も昨年と同様、最初に静かな祈りの時を設けます。また今年は、募金やブース出展の売上げを、東ティモールの支援活動に捧げたいと思います。皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

参加費は 1,000 円（学生は 500 円）です。

マスコミ・ソフィア会創設30周年記念 第27回コムソフィア賞推薦候補者募集中

社会の一隅でキラリと光り活躍しているソフィアンを推薦してください

マスコミ・ソフィア会はコムソフィア賞の推薦候補者を募集しています。

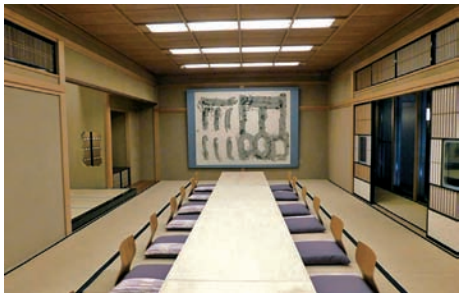
選考基準は、①国際社会、地域社会に貢献した優れた人物、②国際報道、日本紹介に優れた業績を挙げた人物、③マスコミ学に新しい優れた論文を発表した人物、のいずれかです。社会の一隅でキラリと光り活躍しているソフィアンを推薦してください。メールアドレス info@cumsophia.jp に 2018 年３月末までにご連絡下さい。

マスコミ・ソフィア会は、来年創設 30 周年を迎えます。そして 1991 年にコムソフィア賞を設け会員ならびにソフィア会の協力のもと毎回素晴らし人物を顕彰してきました（これまでの受賞者は info@cumsophia.jp で見ることができます）。

今年の第 26 回コムソフィア賞は、受賞者澤田康彦さん（暮らしの手帖編集長・1982 外仏）による記念講演会「『暮らし』のつくりかた」を、「オールソフィアンの集いの」の５月 28 日（日）に２号館で盛大に行いました。

今年のコムソフィア賞受賞者
澤田康彦さん（1982 外仏）

卒業生にも開放ー旧福田家の「紀尾井亭」



10 月 26 日（木）、上智学院 13 号館（旧福田家ビル）にある紀尾井亭のお披露目会が行われました。上智学院は福田家移転に伴い同ビルを買収、13 号館として活用していましたが、その日本間などを「紀尾井亭」として学院の教職員や学生、そして卒業生（ソフィア会登録団体）にも開放することにしたものです。

お披露目会では、もっとも大きな和室「葵の間」や趣の異なる和室（「竹の間」、「雪の間」「松の間」などのほか、お茶室や 760 年前の古民家を移築した田舎家の部屋、そして１階の洋間などを見学することができました。

【紀尾井亭料金表】　（消費税抜き）

	室名	広さ・使用人数	使用時間帯	
			11:00～17:00	17:00～20:00
1	葵の間	48畳・着席38名、立食約80名	18,000円	30,000円
2	竹の間	10畳・着席10名	3,000円	5,000円
3	雪の間	8畳・着席6名	1,800円	3,000円
4	松の間	19畳・着席20名	6,000円	10,000円

※上記料金は、3時間料金
※11:00～17:00内の使用で3時間を超える場合は、1時間単位で料金が追加となる

自ら案内役をかって出た髙祖敏明理事長は「季節ごとに絵や調度品を入れ替えることを考えています。お雛様、五月人形など、季節に合わせて運び込み、飾り、持ち帰るシステムとしたい。絵も卒業生の作品を代わる代わる展示したい」と語りました。

特に上智大学の留学生にとっては日本文化が体験できる恰好の場所となりそうです。

第58回上南戦、上智大学が総合優勝

第58回を迎えた上南戦は、南山大学のクオーター制(4学期制)導入に伴い、今年度から日程を6月から7月に変更し7日(金)～9日(日)の3日間、上智大学キャンパスを中心に開催されました。大会は、21競技・31種目で行われ、上智が22勝9敗で総合優勝し、昨年5連覇を阻止された雪辱を果たしました。

第5回外国語学部ドイツ語学科同窓会 会員大会・懇親会

5月28日、上智大学11号館411/419教室において、約100名の参加を得てドイツ語学科同窓会会員大会・懇親会が盛大に開催されました。

総会では、鳥居正男会長の挨拶の後、2016年度の決算報告・監査報告、ドイツ語学科の現状報告と新任の2名の先生のご紹介、「松本あす加・ドイツ語学科奨学基金の現状報告」に続き、お父様の松本泰様のご挨拶がありました。

引き続き場所を419号室に移し、懇親会が始まり、同窓の友との語らいのひとときを楽しみました。途中、ドイツ語学科に在籍された高祖敏明理事長からも挨拶をいただきました。

会場に設けられたSOPHIA未来募金箱には総額 6万8,500円が寄せられ、閉会後ソフィア未来募金「松本あす加・ドイツ語学科奨学基金」として上智学院に収められました。

聖母看護学科同窓会、IMS2017年会員大会

5月21日（日）、多くの来賓の方々を迎え2017年度聖母看護学科同窓会・会員大会が上智大学目白聖母キャンパスにて開催されました。会員大会に先立ち、1号館聖堂にて追悼ミサが行われました。

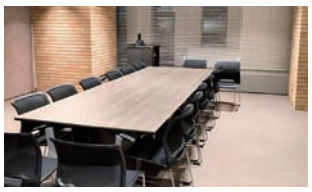
今年度の会員大会は2部構成で、1部は昨年度の活動報告、今年度活動計画等、2部はソフィア会と社会福祉法人聖母会聖母病院の後援のもと「シスター寺本松野生誕100周年記念式典」ならびに「記念シンポジウム」を開催しました。

新会員 高橋克彦(1966理物)、柴田かおり(1994比文)

事務局便り

ソフィアンの皆様。新装成ったソフィアンズクラブのご感想はいかがでしょうか。今までと比べてサロンは広大ですし、会議室もさらに広くなって3室もご用意いたしました。

おかげさまで多くの方々からお褒めをいただき、会議室の申込みもたくさん頂戴しています。お申し込み方法が変更になったことでスタッフもまだ不慣れということもあり、いささか手違いも生じたりしていますが、これから不都合を改善して一層快適にご利用いただけるようにしてまいります。皆様のご意見をお待ちしています。



上智大学名誉教授 ピーター・ミルワード先生ご葬儀

8月16日に逝去されたピーター・ミルワード先生の通夜と葬儀ミサ・告別式が8月21日と22日に聖イグナチオ教会主聖堂において行われました。

先生は1955年に来日。英文学科で教鞭を取られ、以後62年間、四谷キャンパスで過ごされました。英文学科の授業のほか、膨大な著書の執筆、公開講座、学生のための夏休み英国旅行など、上智大学のために尽力されました。

通夜でマイク・ミルワード先生は、お得意だったダジャレとユーモアを紹介。葬儀ミサでは高柳俊一先生が、SJハウスの朝食時に毎日シェイクスピアの言葉を暗唱しダジャレを連発していたと思い出を語られました。告別式では上智大学短期大学部学長の山本浩先生が弔辞を述べられ、ミルワード先生の授業の思い出から、宣教師としての偉大さ、学生たちを夏休みに英国旅行に連れて行ったことなどを感謝とともに捧げました。

訃報 (2017年)

※敬称略

5月21日逝去	カール・ハインツ・ワルケンホルスト	名誉教授(元神学部教授)
6月12日逝去	堀内 四郎	名誉教授(元理工学部教授)
6月15日逝去	永盛 一	元特別契約教授(文学部英文学科)
7月27日逝去	門脇 佳吉	名誉教授(元文学部教授)
8月16日逝去	ピーター・ミルワード	名誉教授(元文学部教授)
8月20日逝去	ジェラルド・パーク	元文学部心理学科教授
9月27日逝去	宇佐美 公史	元神学部教授
9月29日逝去	青柳 洋治	名誉教授(元外国語学部教授)
10月17日逝去	川中 なほ子	元嘱託講師(一般外国語担当)

今後のスケジュール（ソフィア会・大学）

2018年	3月26日(月)	学部学位授与式
	3月27日(火)	大学院学位授与式
	4月 2日(月)	大学院入学式
	4月 9日(月)	学部入学式
	5月19日(土)	春季全国代議員会(予定)
	5月27日(日)	金・ルビー・銀・銅祝式典
		会員大会
		ASF 2018
	9月20日(木)	9月期学位授与式
	9月21日(金)	9月期入学式
	【未定】	ソフィアンズカップ・ゴルフ大会(開催地未定)
	9月29日(土)	第10回地域ソフィア会全国大会(香川大会)
	10月20日(土)	秋季全国代議員会(予定)
	11月 1日(木)	創立記念式典
	12月 3日(月)	聖ザビエルの祝日
	【未定】	ASC 2018
2019年	3月25日(月)	学部学位授与式
	3月26日(火)	大学院学位授与式

ソフィア会広報委員会 宍戸周夫(1971法法)、鈴木真理子（1982文仏)、風間烈(1965外仏)、宮崎輝雄(1972法法)、山田洋子(1977外独)、池田晶子(1980文哲)、金谷春美(2003外葡)、船津桂(2006法国)